

報告書抄録

ふりがな	とたにいせき							
書名	外谷遺跡							
シリーズ名	外谷川補助砂防総合流域防災工事に伴う発掘調査報告書							
編著者名	辻川哲朗・木下義信							
編集機関	滋賀県教育委員会事務局文化財保護課			財団法人滋賀県文化財保護協会				
所在地	〒520-8577 滋賀県大津市京町四丁目1番1号 (TEL) 077-528-4674 (FAX) 077-528-4956 (e-mail) ma07@pref.shiga.lg.jp			〒520-2122 滋賀県大津市瀬田南大萱町1732番2号 (TEL) 077-548-9780 (FAX) 077-543-1525 (e-mail) mail@shiga-bunkazai.jp				
発行年月日	平成22年(2010年)3月							
ふりがな 所収遺跡	ふりがな 所在地	コード		世界測地系		調査期間	調査 面積	調査原因
		市町村	遺跡番号	北緯	東経			
とたにいせき 外谷遺跡	ながはまし 長浜市 だいちちょう 醍醐町	481		35度 25分 58秒	136度 20分 42秒	20070719 } 20080111 20080422 } 20080623	4,088㎡	外谷川補助 砂防総合流 域防災工事
所収遺跡名	種別	主な時代		主な遺構		主な遺物		特記事項
外谷遺跡	—	古墳時代後期		—		須恵器・土師器		隣接する外谷古墳 群の一部が破壊さ れた可能性。
	—	中世前期		—		土師器・青磁		
	生産関連 (畑地)	近世～近代		平坦面・石積・ 道路・河道		陶磁器		
	生産関連 (林業)	近現代		炭窯状遺構		陶磁器・ガラス瓶・ 鉄鏝		
要 約	<p>外谷遺跡は滋賀県長浜市北東部一草野川左岸域の山間部に展開した遺跡である。 今回の発掘調査によって、調査地点とその周辺における土地利用の変遷過程を以下のとおり に復原できた。</p> <p>①古墳時代後期の遺構として、調査地に隣接して古墳4基以上からなる後期群集墳(外谷古墳 群)を新規に発見した。検討の結果、この外谷古墳群は近隣に所在する大規模群集墳(塚原古 墳群)の一支群として位置付けられる可能性がある。</p> <p>②その後、少量ながらも中世前期の遺物が出土することから、当該期に何らかの活動がなさ れていた可能性を見出した。</p> <p>③さらに、18世紀後半から19世紀末葉までの間に平坦面群・道路の新設と河道の付け替え等 の大規模な造作工事が実施された。この造作工事に伴い外谷古墳群の一部が破壊された可能性 がある。検討の結果、これらの造作工事は畑地開発を意図したものであると考えた。</p> <p>④この畑地は明治期のうちには廃絶し、調査地点一帯は炭焼や植林等の林業の場となって現 代にいたる。</p> <p>以上、今回の発掘調査によって、古墳時代後期から現代にいたる間の湖北地域の山間部にお ける開発過程を知る手がかりを得ることができた。</p>							